地域再生計画評価調書(地方創生推進交付金事業効果検証調書)

地域再生計画の名称	「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画	地域再生事業の名称	「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進事業	平成28年度評価
-----------	------------------------------	-----------	------------------------------	----------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標	基準年数値 2015年 (平成27年)	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度					地域再生事業の効果・分析
		2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	最終年目標数値 2018年		
目標1 観光入込客数	2,841 千人	目標	+29 千人 (2,870 千人)	+30 千人 (2,900 千人)	+40 千人 (2,940 千人)	+99 千人 (2,940 千人)	目標1については、前年度比2.1%ほど下がったが、要因の一つは行楽シーズンの天候不良によるものと考えられる。 目標2のレンタサイクル利用件数も7%ほど下がっているが、実績は前々年度より上回っている。下がった要因については、一部行楽シーズンの天候不良によるものと、団体客をキャパシティの関係で受入れできていないことによるものと推測されるが、今後サンライズ系山の拡張事業により、この点はある程度解消されるものと期待する。 目標3については、前年より18%ほど増えているが、この要因については、しまなみ海道サイクリングの取組が各種媒体へ露出され、海外でも瀬戸内しまなみ海道の認知度が上がってきていることが考えられる。今回の台湾へのプロモーション事業実施により、今後のさらなる外国人観光客の増加が期待できる。
		実績	▲60 千人 (2,781 千人)			▲60 千人 (2,781 千人)	
		達成度	▲206.9%			▲60.6%	
目標2 レンタサイクルの利用件数	67,012 台	目標	+2,988 台 (70,000 台)	+4,000 台 (74,000 台)	+5,500 台 (79,500 台)	+12,488 台 (79,500 台)	
		実績	▲4,664 台 (62,348 台)			▲4,664 台 (62,348 台)	
		達成度	▲156.1%			▲37.3%	
目標3 外国人宿泊客数	15,540 人	目標	+320 人 (15,860 人)	+340 人 (16,200 人)	+360 人 (16,560 人)	+1,020 人 (16,560 人)	
		実績	+2,837 人 (18,377 人)			+2,837 人 (18,377 人)	
		達成度	886.6%			278.1%	

評価年度において実施した事業

事業名	サイクリングターミナル拡張整備基本計画策定業務委託料	総合戦略における位置づけ	基本目標:3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策:(ア)サイクルシティ構想の推進 取組:①サイクルステーション構想推進	事業費	1,998千円
事業概要	サイクリングターミナルの整備を行うにあたり、現在サンライズ系山に不足している駐車場及びレンタサイクル保管庫等の機能や規模、設置場所など、設計の前提となる基本的な考えを整理、検討した上で、サイクリストの聖地の拠点施設に相応しい施設整備に向けた基本計画を策定した。■委託先:日本工営株式会社				
事業効果	サンライズ系山に必要な自転車保管庫の規模、構造及び配置計画、その他の施設機能について、既存施設との連携を図りながら、利用者の利便性、職員の動線に配慮した検討が行われた。基本計画が策定できたことにより、次のステップである、建築物の基本設計にスムーズにつなぐことができる。				

事業名	愛媛県等と合同で設立したサイクリング施策推進のための各種協議会の運営費	総合戦略における位置づけ	基本目標:3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策:(ア)サイクルシティ構想の推進 取組:②サイクルツーリズム構想推進③おもてなし構想推進④サイクルプロモーションの構想推進	事業費	25,630千円
事業概要					
<p>(1) サイクルトレインの運行 瀬戸内しまなみ海道利用促進のため、JR予讃線の松山・今治間で自転車をそのまま積み込むことができるサイクルトレインを運行しているしまなみサイクルトレイン利用促進協議会に負担金を支出。</p> <p>(2) サイクリングガイドの養成 瀬戸内しまなみ海道を訪れるサイクリストやツアー客に対し、観光案内にとどまらず、サイクリングの行程管理や安全空間の確保、メカニク的なサポートをするサイクリングガイドを養成する愛媛県サイクリングガイド養成推進協議会に負担金を支出。</p> <p>(3) 国際サイクリング大会の開催 サイクリストの聖地としてのブランドイメージを高め、交流人口の拡大による地域の振興・活性化を図るため国際サイクリング大会を開催する瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会に負担金を支出。</p>					
事業効果					
<p>(1) しまなみサイクルトレインは、春、秋、29年春に計46回運行し、29年春を除く利用者数は443人であり、松山方面からのサイクリストの誘客に一定の効果があった。</p> <p>(2) サイクリングガイド養成講習会を10回実施し、参加者に対しサイクリングガイドに必要な法知識の習得及び実走にあたっての誘導方法の訓練を行った。13名が受講し、そのうち6人が公益財団法人日本サイクリング協会が認定するサイクリングガイド検定に合格した。サイクリングガイドを養成することにより、多様化する団体のツアーガイド要請に対応が可能となったり、旅館・ホテル業の付加価値サービスとして提供することによる雇用の場の創出又は移住者の起業など新たなビジネスの展開が可能となる。</p> <p>(3) 平成28年10月30日に国際サイクリング大会サイクリングしまなみ2016が開催され、5つのコースに国内外から約3,500人が参加した。6割以上は県外からの参加者で、海外からも251人の参加があった。大会開催による経済波及効果は3億707万円との推計が出ている。</p>					
事業名	台湾からの誘客を目的とする観光プロモーション事業(松江市・尾道市・今治市)	総合戦略における位置づけ	基本目標:3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策:(ウ)広域観光周遊ルートの形成 取組:①広域観光周遊ルートの形成	事業費	1,000千円
事業概要					
<p>松江市、尾道市及び今治市の3市が連携し、以下の事業を実施した。(うち尾道市及び今治市分については、瀬戸内しまなみ振興協議会が実施し、同協議会に対し負担金を支出した。)</p> <p>(1) 現地商談会事業 H28.5.30～6.2 台中市、台北市 台湾での商談会の開催(台中市30社42名、台北市41社70名)</p> <p>(2) 著名プロガー招へい事業 H28.9.13～9.18(うち今治市9.13～9.14) 今治市、尾道市、松江市 プロガー2名の招へい、招へい後旅行記事をブログに掲載</p> <p>(3) 旅行業者招へい事業 H28.12.18～12.23(うち今治市12.21～12.22) 今治市、尾道市、松江市 台湾の旅行社3社3名の招へい</p>					
事業効果					
<p>(1) 現地商談会事業 台湾の旅行社との商談会を開催し、今治市を含む3市への観光誘客を推進した。商談件数 台中市23件、台北市29件</p> <p>(2) 著名プロガー招へい事業 今治市を含む3市の観光の魅力をブログ、フェイスブックを通じて台湾の方々に情報発信することができた。</p> <p>(3) 旅行業者招へい事業 台湾の旅行社3社の社員3名を実際に当地域に招くことで、今治市を含む3市が持つ観光素材を肌で感じてもらい、率直な意見を聞くことができた。</p>					

外部有識者からの意見

・サイクルトレインを利用して、しまなみ海道サイクリングに向かう観光客のおもてなし向上のため、波止浜駅の環境整備をしてほしい。内容として、トイレの改装、更衣室の設置、しまなみ海道に関する案内板、案内標識の設置について検討してほしい。

・レンタサイクルのゴールデンウィーク等の行楽シーズンにおける予約をできるようにしてほしい。予約システム等を構築して管理してほしい。

・サンライズ糸山を利用する外国人客が増加しているため、レンタサイクル貸出窓口における言語面の対応を充実させてほしい。